

日野川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

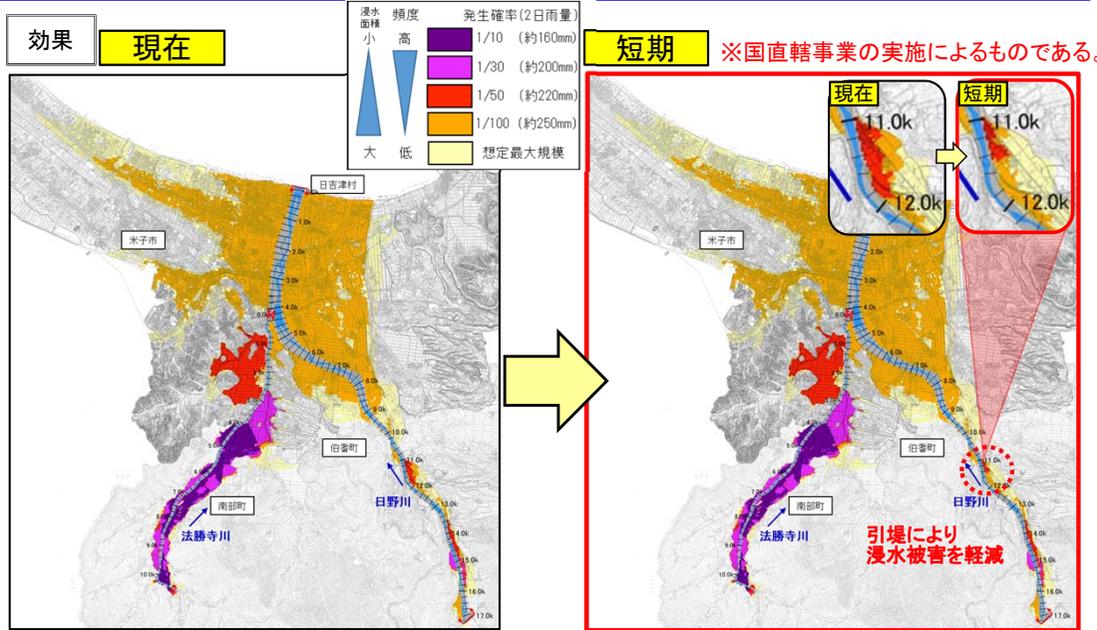
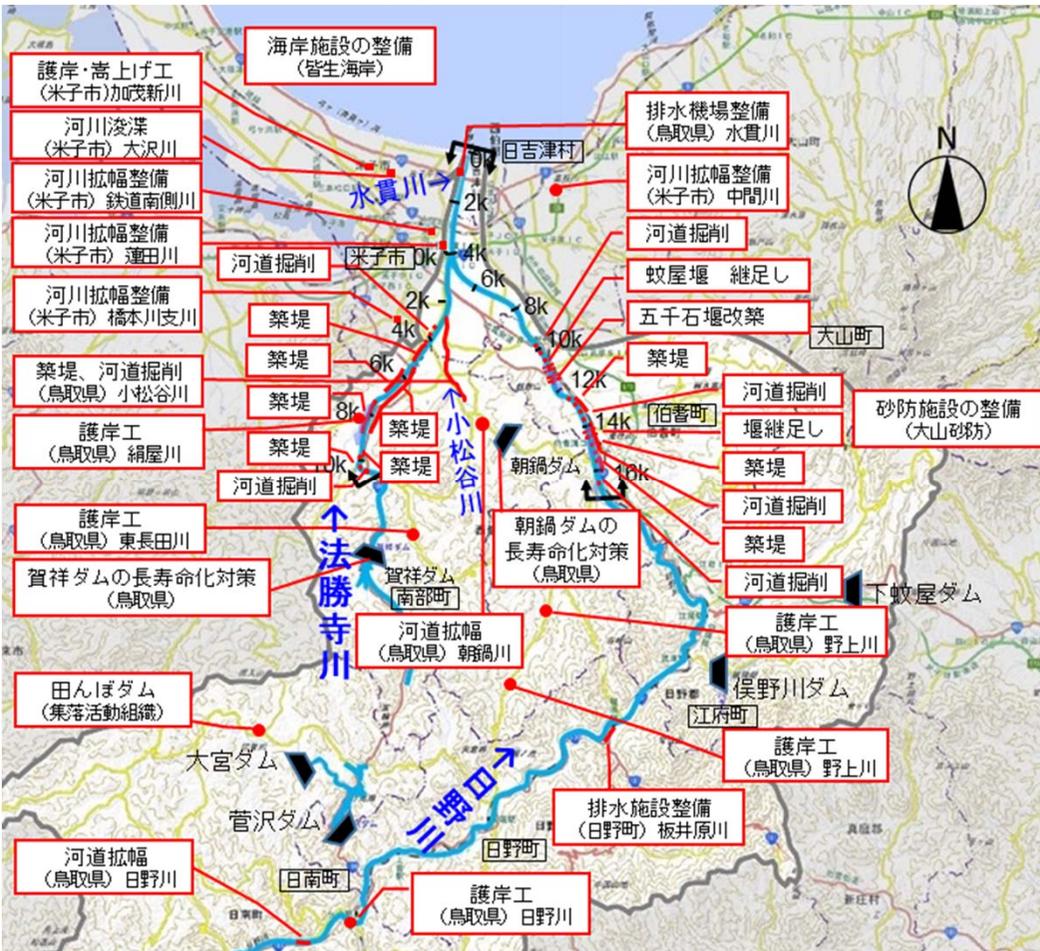
～ひと・ものが行き交い、暮らし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

国交省短期整備（5カ年加速化対策）目標：河川整備率 約65%→約80%

【短期完了時】

上細見地区の築堤事業及び、小町・岸本地区の河道掘削・引堤事業のR7完了に伴い、中下流区間で戦後最大昭和20年9月洪水をHWL以下で流下させることが可能。

実施箇所・対策内容



**注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮していない。
内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。**

区分	河川名	対策内容	事業箇所	工 程		
				短期 (R3～R7年) 日野川 1/10～1/30 (中下流区間) 法勝寺川 1/2～1/10 (中下流区間) R3末	中期 (R8～R18年) 日野川 1/10～1/30 (直轄管理区間)	長期 (R19～R27年) 日野川 1/30 (直轄管理区間) 法勝寺川 1/2～1/10 (直轄管理区間)
日野川	河床掘削	①地区 宇代・溝口・中祖			100%	
	築堤	①地区 溝口			100%	
		②地区 溝口			100%	
	引堤	五千石堰 小町・岸本		100%		
堰継足し	尾高堰 宇代・溝口			100%		
法勝寺川	河床掘削	②地区 法勝寺・原				100%
		③地区 法勝寺	30%		100%	
		④地区 原			100%	
	築堤	⑤地区 法勝寺			100%	
		⑥地区 原			100%	
		⑦地区 法勝寺			100%	
		⑧地区 原			100%	
		⑨地区 法勝寺			100%	
		⑩地区 法勝寺			100%	

【短期整備完了時の進捗】
小町・岸本地区 引堤100%
法勝寺地区 築堤30%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

日野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～ひと・ものが行き交い、暮らし豊かな日野川流域を総力で守る流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：80%
（概ね5ヵ年後）

農地・農業用施設の活用



7市町村
（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設
（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上、および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 8箇所
（令和3年度実施分）
砂防関係施設の
整備数 5施設
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村
（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想
定区域 4河川
（令和3年12月末時点）
内水浸水想
定区域 0団体
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 226施設
計画 土砂 27施設
（令和3年9月末時点）
個別避難計画 集計中
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水被害に対応した河川整備】



築堤工事（伯耆町上細見地区）



河道掘削工事（伯耆町大殿・吉長地区）

日野川流域では、頻繁に起こる水害を軽減させるため、築堤や河床掘削などによる河川整備を実施しています。

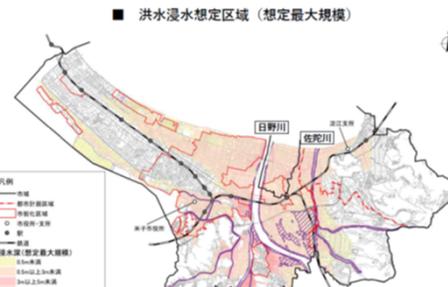
被害対象を減少させるための対策

【立地適正化計画における防災指針の検討】

（米子市）

（5）災害リスク 洪水浸水（想定最大） 29

- ・ 浸水想定区域（想定最大規模）をみると、市内の広範囲に渡って浸水が想定されており、家屋が倒壊するおそれがある区域は日野川や佐陀川の西部及びその支流に広がる



抜粋：第2回米子市立地適正化計画検討委員会資料の一部

米子市では、立地適正化計画の策定に向けた米子市立地適正化計画検討委員会が令和3年8月、10月及び令和4年1月に開催されました。

学識者や商工会議所などの外部専門家の委員で構成され、第2回目の委員会では米子市の現状の整理や市民アンケート調査の結果分析などが幅広く議論され、第3回目の委員会では立地の適正化に関する基本的な方針が議論されました。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

【地域の防災体制づくり】

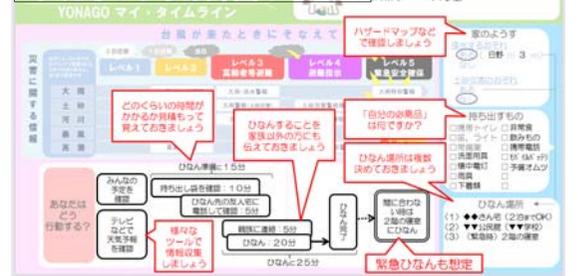
浸水表示看板（南部町）



防災促進（鳥取県）



マイ・タイムライン（米子市）



街角で浸水深を掲示したり、世帯ごとの「マイ・タイムライン」、集落ごとの「支え愛マップ」を作成することにより、防災意識の向上及び円滑な避難行動を促します。